

ング調査の信頼性・公平性を担保するため、市として何を行うのか？③ボーリングした土壌を事業者と市がそれぞれの検査機関に出すクロス調査を要望したい。④市はpHについては独自の検査方法だが、土砂搬入時の土壌検査が、一般的な方法だとすると、搬入時からすでに違反もある事になる。市はチェックしているのか？⑤平成24年度のクリーンセンターのダイオキシン類濃度が、法規制値ギリギリだが、原因は何か？⑥その後の対応と平成25年度の数値はいかがか。

【答】1. 市民の政治参加①そのチラシは知っている。②ポスターやビラに関して、公職選挙法では、形式的事項についての規制しており、その内容については、選挙管理委員会は関わることはできない。③公職選挙法の啓発に、これまで以上に努める。

2. 環境保全①2回報告を求めたが、納得できる回答ではなかったため、事業地内のpH等の分布状況の確認調査が必要と判断し、ボーリング調査を行うよう命令した。②事業者と十分な打合せを行い、市

も現地を確認しながら対応していきたい。③クロス検査は検討させて頂きたい。④発生ごとに土壌検査証明書が提出されているので、チェックを認められないため、一時的に燃焼温度が不安定になったと思われる。⑥焼却運転は適正に管理をしている。測定結果は1号炉1回目0.85ng、2回目測定中である。2号炉1回目0.70ng、2回目0.74ng

### ホンモノの「子育て日本一」を

『みらいクラブ』

◎森本 次郎 山本 裕嗣

阿部 治夫

【問】①待機児童が激増、百人以上となり、「子育て日本一」どころではない非常事態に陥っている。保育所の増設も必要だが、大阪府箕面市のように大胆な幼稚園の預かり保育の充実、幼稚園児補助金の増額で、待機児童の大幅削減を進められないか。

②定住促進、財源確保のため日本中・世界中から大胆に人を呼び込む規制改革の一つの

方策として、住民税の上限を設ける住民税減税を検討できないか。

【答】①箕面市の施策は、非常に先進的な事例であると考えている。ただ、保育園に在園していた児童が、4歳になると幼稚園に移り、きょうだいが別々の園に通わなければならぬといった懸念もある。②庁内全体で、住民税を減税したときにどうなるのか、そういうものも必要ですので、検討できるよう考えていきたい。③職員の業務執行体制が人数的に非常に厳しい現状では、少し期間を置いている状況である。

具体的な派遣予定はないが、貴重な体験でもあり、全体的な職員の業務負担ということと併せて考えていきたい。



### 第1回定例会において各会派から通告のあった代表質問項目の一覧

#### 【総務関係】

- 災害対策
- 身近な安全確保
- 空き家対策
- 広報広聴について
- 地域防災力の強化
- マイナンバー制度

#### 【環境経済関係】

- ごみ処理問題
- 里山保全
- 環境問題
- 農業問題
- 環境保全

#### 【建設関係】

- 市街地形成
- 公共交通
- 建設問題
- 区画整理事業

#### 【教育民生関係】

- 子育て支援
- 教育問題
- 子ども・子育て支援法

#### 【全般】

- 市長二期目の意気込み
- 基本構想
- シテイセールス
- 市長二期目の抱負について

○ひとりひとりを大切に、市長約とも重なるが、あらためて何う

○安心安全で住みよいまちは市民の願い、そこで何う

○市長選を振り返り、何う

○佐渡市長の二期目における基本姿勢及び公約について

○積み残された事業に対する今後の取り組み

○佐渡市政二期目の決意について

○平成26年度当初予算

○市民の政治参加

○施政方針・教育行政方針

○基本構想・計画

○佐渡ひとしのセカンドステージ

○社会資本の整備

○教育問題

